

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【150】
2. 日時：令和2年4月9日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官※、宇田川安全審査官、
服部安全審査専門職※、堀野技術参与、山浦技術参与※

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部 課長 他8名※

5. 要旨

- (1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、強度に関する説明書について、令和2年3月24日の提出資料に基づき説明があった。

- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書】

- 固縛装置の連結材（ロープ）が地震時に展張しないたるみを有することについて、具体的な設計方針、加振試験で得られた設備の変位と連結材の長さとの関係等を整理して説明すること。

【可搬型重大事故等対処設備のうちボンベ設備の耐震計算書】

- 「図3-1 解析モデル」、「図3-2 解析モデル（ボンベラック支持構造：溶接①）」等について、シェル要素とはり要素の使い分けの考え方、断面性状、拘束条件等の詳細を整理して説明すること。また、解析モデルの各部位の説明は、解析モデル図と整合させること。
- 「表6-1 使用材料の許容応力評価条件」に示される溶接部の許容応力について、溶接による許容応力低減の要否を整理して説明すること。
- ボルトの本数、ボルト間距離等について、まとめて提示し、計算の過程が分かるよう整理して説明すること。

【可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料】

- 「図10-1 加振台の床応答スペクトル（FRS）と設計用FRSとの比較」等々に示される減衰定数について、設定の根拠を説明すること。
- 評価対象設備の固有周期を示すこと。また、その固有周期での加振台

のFRS及び設計用FRSにより求められる応答加速度について、一覧表にまとめて整理して説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし